

## 令和元年度 第5回 豊田市男女共同参画推進懇話会会議録

- 日 時 令和2年2月12日（水） 午前10時00分～11時30分
- 場 所 とよた男女共同参画センター 21会議室
- 出席者 懇話会委員 石田路子（座長）、吉野まり子（副座長）、尾原洋子、  
斎藤万里、松井恒雄、若月めぐみ、大代知穂、古澤三秀、  
野村文子
- 事務局 生涯活躍部副部長 清水、市民活躍支援課長 濱田  
とよた男女共同参画センター 清水、深谷、柳野
- 欠席者 伊藤健一

### 1 開会

清水副部長挨拶

### 2 議事

#### （1）第4次クローバープラン（案）の策定について（協議）

事務局が資料に基づき説明。

#### <発言>

- A委員 （18）人権と性の尊重意識の醸成の施策について、道しるべ2の「生き生きと楽しむ」を当てはめるのは疑問を感じるが、いかがか。
- B委員 生きづらさを感じている人に「楽しく生きる」ことの充実を支援するということで、適切だと考える。
- C委員 （18）人権と性の新調意識の醸成の施策は、道しるべ1の「個を尊び育てる」も該当するし、（17）一人ひとりの活躍機会の創出の施策も、同様に該当する。1つの施策で複数をかなえるように目標をたてることはよい。
- D委員 施策指標の目標値が低いと感じるものがある。めざす理想として高く設定するべきではないか。
- C委員 理想を追求すると、全部「100%達成」などになってしまうのでそのあたりは実際には難しいのではないか。
- 事務局 目指すべき理想は高くもちつつ、計画5年間で達成すべき目標値も見据え、設定したい。
- E委員 事業に関わった人が「意見を言える場」を設けてほしい。市民が感じていることを吸収する場をつくるのが重要だと思う。今はネットで収集するやりかたもできる。

- |      |   |
|------|---|
| E 委員 | 現プランの評価方法を3択から4択の評価選択肢に変更したことはよいことである。4つだと大きく区分して「よい」「わるい」がしっかりみえるため。 |
| B 委員 | 次期プランの特徴は「楽しむ」である。難しいことは承知のうえだが、成果指標に「楽しむ」を測るものを検討してほしい。              |
| A 委員 | 男女共同参画の着実な推進のため、地域の女性役員の数が増える取組をもっとたくさん実施してほしい。                       |

## (2) 相談事業20周年記念事業について（報告）

事務局が資料に基づき説明。

### <発言>

- |      |  |
|------|--|
| C 委員 | 全国ではDVが影響する殺人事件もおこっている。虐待やDVに関する「豊田市の状況」を記念講演のなかで紹介することで、個人での予防や支援の知識が深まるようになるとよい。 |
| B 委員 | 今回は女性相談の記念事業とあるが、男性の相談事業はないのか。男性相談事業もあれば、今回色々紹介するとよいのではないか。                        |
| 事務局  | 男性相談も実施はしているが、今年度は女性相談20周年という節目での記念事業であるため、今回の講演内容には男性事業は取り扱わない。                   |

## (3) 令和元年度主要事業実績報告及び令和2年度主要事業について（報告）

事務局が資料に基づき説明。

### <発言>

- |      |                                  |
|------|----------------------------------|
| C 委員 | 他部署との連携をしっかりと整理して、積極的に施策推進してほしい。 |
| B 委員 | リカレント教育に力を入れて取り組んでほしい。           |

## 3 その他

各委員から1年間の審議に関する感想または意見。

## 4 閉会

濱田課長挨拶